

大阪学院大学大学院経済学研究科
理論経済学（A）（平成11年度）中間テスト問題(30%)

1999年7月15日

鬼木 甫

下記の問に答えよ。なるべく図・記号を多用されたい。

問：財Xの市場が通常の需要・供給曲線で表わされとする。需要側をA、供給側をBと呼ぶ。

(1) 政府が、Xの供給者BからXの1単位ごとに定額（ t 円）の物品税（消費税）を徴収したとする。そのとき、Xの均衡売買量、Aの支払価格と同金額、Bの販売金額と収入金額がどのように変化するかを説明せよ。

(2) 上記(1)で物品税徴収前と徴収後において、Aの余剰、Bの余剰、政府の余剰、社会全体の総余剰がどのように変化するかを説明せよ。

(3) 下記A、Bから少なくとも1問に（できれば2問とも、2問目満点の場合はボーナス10%）答えよ。

A. 上記(1)のかわりに、政府が需要側Aから、Xの購入時に(1)の場合と同一金額（Xの1単位ごとに t 円）の税を徴収したとする。そのときの社会全体の総余剰を(1)の場合と比較せよ。

B. 上記(1)において、(i)需要が完全に非弾力的、供給が完全に弾力的であった場合と、逆に(ii)需要が完全に弾力的、供給が完全に非弾力的であった場合の結果を述べよ。

〔付加：Take-Homeオプション：7月16日正午まで教務課に提出。自分だけの力で解答を作成すること。書物等の参照は自由。他者との連絡は厳禁。なお、答案末尾に下記を書くこと。「本答案は私自身で作成したものであり、他者との協力・助言の授受などは一切ありません。 年月日、氏名、印〕

